

2024年 第40回同志社ウィーク

主 催	同志社大学体育会ヨット部鯨会
共同主催	NPO 法人滋賀県セーリング連盟
後 援	京都府セーリング連盟
場 所	滋賀県立柳ヶ崎ヨットハーバー
競技種目	国際470級・国際スナイプ級
大会期間	2024年3月22日(金)～2024年3月24日(日)

SAILING INSTRUCTIONS

1. 規則

- 1.1 本レガッタは、2021-2024 セーリング競技規則(以下 RRS という)に定義された規則を適用する。
- 1.2 SI は NOR よりも優先される。これは RRS 63.7 を変更している。
- 1.3 RRS 42 違反に対し付則 P を適用する。
- 1.4 RRS 87 及び 470 クラス規則 A6.2 とスナイプクラス規則に基づき、470 クラス規則の規則 C 節とスナイプクラス規則 C 節に次の文章を追加する：「完沈を防ぐ目的で、マストトップに浮力体をつけてもよい。」
- 1.5 スナイプ級においては藻を取る目的で、スナイプクラス規則 C.5.1(a)4 のツールとして藻取り棒を搭載してもよい。
- 1.6 SCIRA 規則の『国内及び国際選手権大会の運営規定』は、同規定 9.1 に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き、適用されない。
- 1.7 今大会のすべての規則を決定するのは次の通りとする。
 - 1.7.1 【DP】 は、その規則の違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができることを意味する。
 - 1.7.2 【SP】 は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することが出来る規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。
 - 1.7.3 【NP】 は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは RRS 60.1(a)を変更している。

2. 帆走指示書の変更

- 2.1 帆走指示書 (以下 SI という) の変更は、それが発効する当日の 8:00 までに掲示され

る。

2.2 レース日程の変更は、それが発効する前日の 18:00 までに掲示される。

3. コミュニケーション

3.1 公式掲示板はオンラインのみとし、大会用オルグを利用する。

オルグサイト：[セーリングのレースルール \(racingrulesofsailing.org\)](http://racingrulesofsailing.org)

3.2 【NP】【DP】 競技者とのコミュニケーションは、LINE オープンチャットで行う。

(LINE オープンチャットでの選手からの投稿は、特別な理由がない限り認めない)

3.3 【DP】 緊急の場合を除き、艇はレース中無線送信もすべての艇が利用できない無線通信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用する。

4. 行動規範

【DP】 競技者及び支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

5. 陸上で発せられる信号

5.1 陸上で発せられる信号は、事務所 2 階のテラスに掲揚される。同時に LINE オープンチャットでも発信される。

5.2 陸上に回答旗が掲揚された場合は、レース信号回答旗中の「1 分」を「40 分以降」と置き換える。

5.3 【NP】【DP】 陸上に掲揚された D 旗は、「予告信号は、D 旗掲揚後 40 分以降に発する。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならない。

6. レース日程

6.1 それぞれの日のレース数と最初のレースの予告信号予定時刻は次の通りとする。

日付	レース数		最初の予告信号予定時刻	
	470 級	スナイプ級	470 級	スナイプ級
3 月 23 日	4	4	10:30	470 級の スタート後
3 月 24 日	4	4	10:00	

6.2 1 日のレース数は最大 4 レースとする。

6.3 レース委員会の裁量により、予定された日に行われなかったレースは、翌日に行うことが出来る。

6.4 引き続き行うレースのための予告信号は、できるだけ速やかに発せられる。

- 6.5 3月24日の予告信号は14:00より後には発しない。
- 6.6 3月23日は開会式及びブリーフィングをZoomで行う。
- 6.7 3月24日の閉会式は柳ヶ崎ヨットハーバーにて行われる。
- 6.8 3月22, 23日の19:30よりZoomにて各招待選手の講習会が開かれる。

7. クラス旗

クラス旗は以下の通りとする。

470級	白地に青の記章
スナイプ級	白地に赤の記章

8. コース・エリア

コース・エリアの場所を【添付図1】に示す。

9. コース

- 9.1 【添付図2】の見取り図はレグ間の概ねの角度、通過するマークの順序及びそれぞれのマークをどちらにみて通過するかを含むコースを示す。
- 9.2 予告信号以前もしくは同時にレース委員会信号艇に、選択されるコースを掲示する。
また、最初のレグのおおよそのコンパス方位と距離を掲示する。

10. マーク

10.1 マーク、または関連したゲートマークは、次の通りとする。

マーク 1,2,3s,3p,4s,4p	オフセット マーク	新しいマーク	スタートライン マーク	フィニッシュライン マーク
黄色円筒形	オレンジ色 球形	オレンジ色 三角錐形	レース委員会艇	レース委員会艇 オレンジ色円筒形

10.2 フィニッシュマークはレース委員会艇か、ブイである。

11. スタート

- 11.1 スタートラインは、レース委員会艇の「オレンジ色旗」を掲げたポールの間とする。
- 11.2 【DP】【NP】他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・エリアを回避しなければならない。また、回避エリアはスタートラインから100mとする。
- 11.3 スタート信号の4分以降にスタートする艇は、審問なしにDNSと記録される。この項はRRS A5.1及びA5.2を変更している。

11.4 RRS 30.4 中の「セール番号」を「リコールナンバー」に置き換える。

11.5 [NP] SI9.4 以外で、スタート時に UFD または BFD と記録された「艇のリコールナンバー」は、レース委員会信号艇後方に掲示される。UFD 及び BFD と記録された「艇のリコールナンバー」の掲示の不備に関して艇からの救済要求の根拠とはならない。これは RRS60.1(b)を変更している。

12. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更する為に、レース委員会は、新しいマークを設置するか、フィニッシュ・ラインを動かすか、風下ゲートを動かす。また、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

13. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは以下のいずれかとする。

- (a) 両端にあるフィニッシュ・マーク上の青色旗を掲揚しているポールの間
- (b) 一端にあるフィニッシュ・マーク上の青色旗を掲揚しているポールと、他端にあるフィニッシュ・マークのコース側との間

14. タイムリミットとターゲットタイム

14.1 タイムリミットとターゲットタイムは次の通りとする。

クラス	ターゲット タイム	タイムリミット	マーク 1 タイムリミット	フィニッシュ・ ウインド
470 級	40 分	70 分	20 分	10 分
スナイプ級	45 分	70 分	25 分	10 分

14.2 マーク 1 のタイムリミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合には、レースは中止する。

14.3 先頭艇フィニッシュ後、フィニッシュ・ウインド内にフィニッシュしない艇は DNF と記載される。この項は RRS 35 と A4, A5 を変更している。

14.4 ターゲットタイム通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは RRS 62.1(a)を変更している。

15. ペナルティー方式

15.1 RRS 42 違反に対し、付則 P を適用する。ただし、付則 P1 中の「セール番号」を「リコールナンバーまたはセール番号」に置き換える。

- 15.2 [SP]は、レース委員会またはテクニカル委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これらの違反に関連するペナルティーのガイドラインは、公式掲示板に掲示される。標準ペナルティーを課された艇の得点略語は「STP」である。これは RRS 63.1, A5.1 及び A10 を変更している。レース委員会またはテクニカル委員会は、抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。
- 15.3 RRS T1 に基づく「レース後のペナルティー」を履行した艇は、得点略語「PRP」を用いて記録される。これは RRS A10 を変更している。
- 15.4 レース公示の規則およびクラスルール違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができる。

16. 審問要求

- 16.1 抗議または救済や審問再開の要求は下記 URL のオンラインフォーム〔抗議書〕にて、適切な制限時間内に提出しなければならない。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には大会事務局に持参して提出することができる。
抗議書：https://www.racingrulesofsailing.org/protests/new?event_id=7707
- 16.2 それぞれのフリートに対して、抗議締切り時刻はその日の最終レース終了後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 70 分とする。これは RRS 61.3, 62.2 を変更している。
- 16.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、抗議締切り時刻後 15 分以内に通告を掲示する。審問は柳ヶ崎艇庫 1-3 の審問室にて公式掲示板に掲示された時刻に始められる。
- 16.4 レースを行う最終日には、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から 20 分以内に提出されなければならない。これは RRS 62.2(a)を変更している。
- 16.5 レース委員会、プロテスト委員会またはテクニカル委員会による規則 61.1(b)に基づく競技者への抗議の通告は、公式掲示板に提示される。
- 16.6 RRS 42 の違反によりペナルティーを課せられた艇のリストは、公式掲示板に掲示される。

17. 得点

- 17.1 今大会は RRS 付則 A の低得点方式を適用する。
- 17.2 艇のシリーズの得点は、成立したレースが 4 レース以下であれば全レースの合計得点とし、5 レース以上成立した場合は、レガッタ中の最も悪い得点を除外したレース得点とする。
- 17.3 艇は掲示された得点またはシリーズ成績に誤りがあると判断した場合、下記 URL のオンラインフォーム〔成績照会のフォーム〕にてレース委員会に提出する事で得点及

び、成績の訂正を要請する事が出来る。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には大会事務局に持参して提出することができる。

成績照会：https://www.racingrulesofsailing.org/scoring_inquiries/new?event_id=7707

18. 【DP】 【NP】 安全規定

- 18.1 【SP】 競技者はその日の9:50までに、LINE オープンチャットから「出艇申告書」のフォームに入力し、送信しなければならない。
- 18.2 【SP】 競技者はその日の抗議締め切り時間内に、LINE オープンチャットから「着艇申告書」のフォームに入力し、送信しなければならない。
- 18.3 【SP】 出艇しない艇は出艇申告受付時間内に、LINE オープンチャットから「リタイア報告書」のフォームに入力し、送信しなければならない。その後出艇する場合は、出艇前に「出艇申告書」のフォームに入力し、送信しなければならない。
- 18.4 【SP】 レースからリタイアする艇は帰着後速やかに、LINE オープンチャットから「リタイア報告書」のフォームに入力し、送信しなければならない。レースからリタイアした艇は、コースを離れる前に、可能であればレース委員会艇、テクニカル委員会艇、またはプロテスト委員会艇にリタイアの意思を伝えなければならない。その後出艇する場合は、出艇前に「出艇申告書」のフォームに入力し、送信しなければならない。なお、陸上でリタイアした場合はできるだけ早く「リタイア報告書」を送信しなければならない。
- 18.5 レース委員会は帆走不可能もしくは危険な状態にあると判断した場合には、各艇の意向に関わらず艇体放棄を含む救助を行うことができる。この強制救助に対しては、艇からの救済要求の根拠とはならない。これは RRS 62.1(a)を変更している。

19. 乗員の交代

その艇に登録されている乗員は、レース間に自由に交代してよい。

20. 装備の交換

- 20.1 損傷または紛失した装備の交換はレース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は最初の妥当な機会に LINE オープンチャットまたは大会オルグから入手できる〔装備交換申請書〕に入力し、大会メールアドレス宛に送信しなければならない。ただし、提出することが困難な場合には大会事務局に持参して提出することができる。
- 20.2 海上で損傷または紛失した装備を交換する艇は可能ならば近くのレース委員会艇に装備の交換がある旨を伝え、抗議締切時刻までに〔装備交換申請書〕を送信しなければならない。

21. 装備と計測のチェック

21.1 艇または装備は、クラス規則、レース公示および帆走指示書に適合しているか、いつでも検査されることがある。

21.2 【DP】 水上でレース・オフィシャルに指示された場合、艇は検査のために指定されたエリアに向かわなければならない。

22. 運営艇の識別

運営艇の標識は次の通りである。

レース委員会	白色旗
プロテスト委員会	赤地に白字で”JURY”と書かれた旗
メディアボート	緑色旗

23. 【NP】 【DP】 支援艇

23.1 支援艇は、レース中の艇に引き波の影響を与えてはならない。

23.2 支援艇は、危険な状態にあるボートからの救助要請により救助を行うか、プロテスト委員会またはレース委員会の要請がない限り、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュまたはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの 100m 以上外側にいなければならない。

23.3 レース委員会が音響信号 1 音と共にピンク旗を掲揚した場合、全ての運営艇、支援艇は、危険な状態にある艇に対して、可能な限りのあらゆる救助をしなければならない。この旗はレース中であっても掲揚されることがある。この場合、SI 23.1、23.2 は適用されない。

24. ゴミの処分

ゴミは支援艇またはレース委員会艇に渡してもよい。

25. リスク・ステートメント

25.1 RSS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

25.2 この大会は RRS 3 に則り、レースへの参加やレースの続行についての艇の決定は、そ

の艇のみにある。主催団体は本大会前後、大会期間中に関連して受けた物的損傷又は個人の負傷、もしくは死亡に対するいかなる責任を否認する。主催団体は参加者・チーム・支援艇にスポーツ安全保険などの傷害保険並びに第三者賠償責任保険に加入することを強く推奨する。

大会役員

大会顧問 空閑浩人

大会会長 水上真吾

大会副会長 美馬完治

大会委員長 加藤英樹

競技委員

レース委員長 西村秀樹

レース副委員長 大石駿水

プロテスト委員長

レースオフィサー 清水友紀

実行委員

内貴航路朗

牧野陸

長谷川真大

小松慎平

川戸洋平

富島万由子

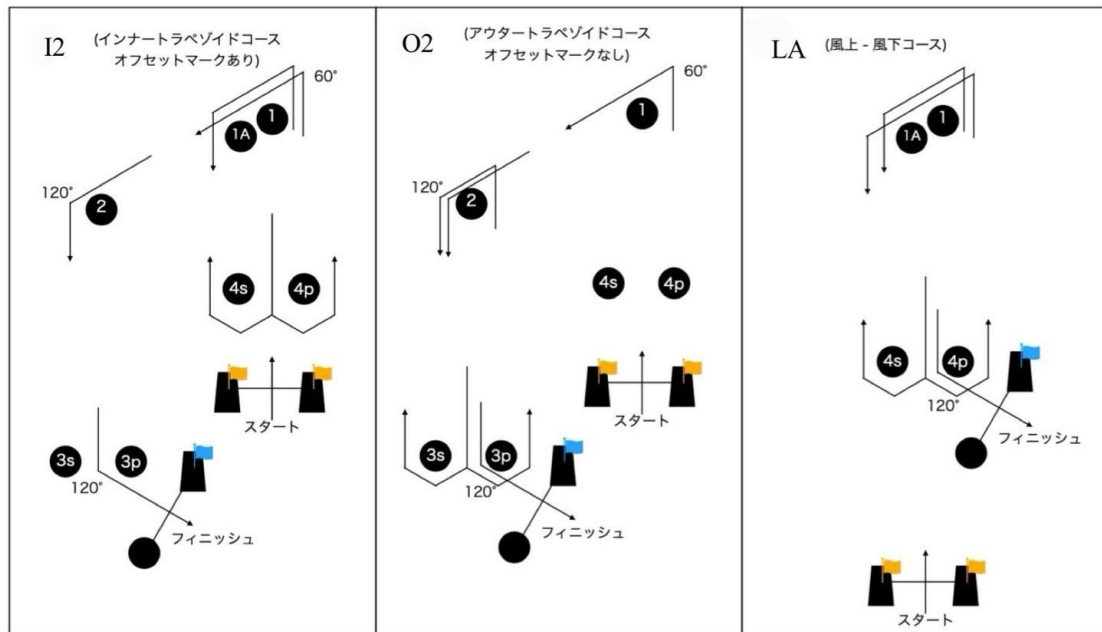
白神まゆこ

野並由実

【添付図 1】



【添付図 2】



トラペゾイドコース (インナーループ)	I2	Start-1-1A-4P/S-1-2-3P-Finish
トラペゾイドコース (アウトーループ)	O2	Start-1-2-3P/S-2-3P-Finish
風上 - 風下コース	LA	Start-1-1A-4P/S-1-1A-4P-Finish